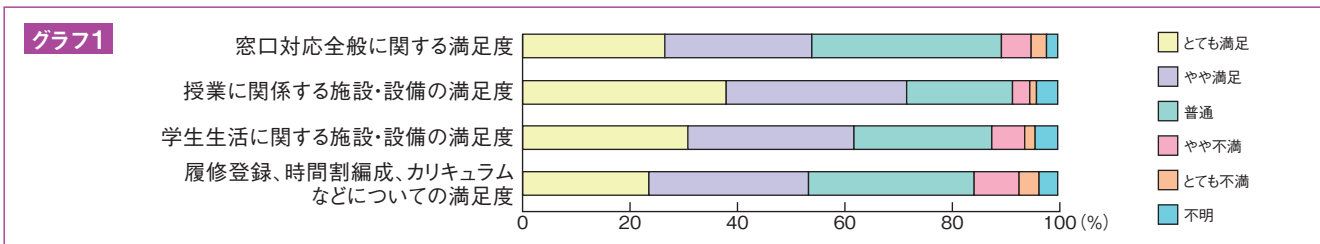


2013年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

【実施日程・調査方法】 2013年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2014年1月11日から20日の間に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスを履修する学生には教員が学生に直接配付し、それ以外の学生には自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、郵送により提出する方法をとりました。また大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・院生のみさんから、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートの回収は、学部・大学院の学生を合わせて対象とした8,075名の内、3,319件のデータを回収することができ(回収率:約41.1%)、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は「**グラフ1**」の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、全てタイプ打ちし、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討および改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【概要】

1. 2013年度の教育環境改善報告

本学は2014年に創立50周年を迎えるにあたり、現在、総合的な学生支援策の強化、およびキャンパス再編に取り組んでいます。また、そうした教育環境の改善に関して事務局では例年、学生にアンケートを実施して「窓口対応」、「教育施設」、「学生生活施設」に関する各種改善に取り組んでいます。

■窓口対応

- 事務局全体では、学生から寄せられた各種の指摘や意見をもとに各課で点検や話し合いを行い、速やかな改善に努めました。
- 各課では、「挨拶」「丁寧」「正確」のスローガンと教育的指導を意識し、事務局と学生との距離を近づける雰囲気づくり、学生を支援する各種イベントの開催、および学生に対する積極的な情報発信などを行いました。

■教育施設

- 教室、アリーナ、グラウンドなど、各教育施設の安全・衛生の維持に努めました。また、それらの運用についても、利用に関するルール整備、設備や利用機会の拡充に努めました。
- 老朽化した教室棟(5棟)については、創立50周年記念館(仮称)の建設準備を進めました。
- 自然エネルギーの有効活用、ならびに学生の理解・協力により、電力消費の軽減を図ることができました。
- WEBサービスの安定・強化、学習ポータルサイト(PorTa)の利用環境等、情報基盤整備を随時行いました。

■学生生活施設

- 学生センター、学生食堂など、各教育施設の安全・衛生の維持に努めました。また、それらの運用についても、利用に関するルール整備、設備や利用機会の拡充に努めました。
- 大学校地に隣接する伝右川の親水護岸エリアの整備が完了し、利用開放されました。
- 学生センターのトレーニングルームは、当初の予定より大幅に遅れたものの、2014年2月より一般学生が利用できる状況となりました。
- 学生食堂については従前より、食の拠点分散化やメニューの向上といった課題を認識し、いくつかの提案および解決を試みました。しかしながら、2013年度中に大きな改善を遂げるには至りませんでした。

2. 2013年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■窓口対応について

- 窓口対応については評価、苦情のほか、期待する取り組みや要望も多々あり、さらにその内容も高度化、複雑化している様子が伺えました。これらについては「事務局自己点検評価委員会」にて検証し、改善方策の策定、実行につなげていきたいと思えます。

- 職員の資質向上については、スタッフ・ディベロップメント(SD)活動と位置づけ、研修等を実施します。同時に、学生支援をはじめとする各種業務の改善を図ります。
- 他方、事務局窓口での対応は、学生の人格形成、社会性育成のための教育・指導の一環でもありとも考えています。

■教育施設・学生生活施設について

- 5棟に関する指摘は緊急性や重大性を伴うものでない限り、創立50周年記念館(仮称・2017年度内完成予定)をもって対処します。
- キャンパス東側ゾーンの教室棟(天野貞祐記念館、東棟)の施設は、機能や安全性に大きな問題はないものと判断していますが、細かな指摘のある箇所については点検のうえ、修繕等を行いたいと思えます。
- 電力消費の軽減(空調、照明、エレベーターなどの制限)については不満の声もあっていますが、本学では、全ての大学構成員がグローバルな問題である地球温暖化防止や生物多様性の回復に向き合うことが必要であると考えています。特に学生の皆さんには「環境教育」という観点をもって、引き続き理解と協力を求めていきたいと考えています。
- 35周年記念館の開館時間は、これまで午前8時から20時までとしていましたが、2014年4月1日より閉館時間(退館時間)を21時30分とし、利用時間を拡充しています。
- 各団体および一般学生のグラウンド、アリーナの利用については、各所管部署で連携・調整のうえ、改善を図りたいと考えています。
- グラウンドの施設については定期的な保守点検を行い、今回問題が指摘された箇所を含め、必要な修繕、改修を実施したいと考えています。また、利用・運用についても改善を図りたいと考えています。
- 従前より指摘されている学生食堂の混雑緩和については、学生センターへの分散化や空店舗への出店などにもついで、引き続き取り組みます。また、メニューについてはこれまで食材の高騰やデフレ不況の中、本学では提供価格を据え置く方向で努力してきましたが、2014年4月からは消費税増税に伴い、最小限の価格改定を実施しました。
- 学生センターの利用・運用に関しては、所管部署において検討し、改善を図りたいと考えています。また、施設・設備についても点検のうえ、必要な措置を講じたいと考えています。

■その他

- 学内分煙化については、2013年度中に方針の見直しを行い、2014年度以降は本学の受動喫煙防止対策として「完全分煙」を継続することとしました。喫煙マナー違反者に対しては、分煙ルール徹底のための具体的な対策を検討のうえ、実施します。併せて、喫煙者への禁煙促進、非喫煙者が新たに喫煙習慣を身につけないための方策を講じ、学内の喫煙者数の減少に向けて活動していくこととなります。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学友会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。